

## 平成29年度 シンポジウム・セミナー開催等援助を決定

公益財団法人電気通信普及財団（理事長 中山 進）は、本日開催した理事会において、「平成29年度事業援助」の公募に対し、応募があった案件について、当財団審査委員会の審査結果を踏まえ、別紙のとおり援助を決定いたしました。

概要は下記のとおりです。

### 記

#### 平成29年度援助

- |                       |     |        |      |
|-----------------------|-----|--------|------|
| (1) シンポジウム・セミナー開催     | 13件 | 14,080 | 千円   |
| (2) 長期海外研究            | 3件  | 42,733 | USドル |
| (3) 特別講義開設（平成29年度開講分） | 7件  | 6,142  | 千円   |

#### (参考)

- 1 シンポジウム・セミナー開催援助  
学術に有意義なシンポジウム・セミナー等を開催される場合、この活動に対して援助するもの。
- 2 長期海外研究援助  
情報通信分野の若手研究者が海外の大学、又は研究機関の招聘を受けて研究留学する場合に、滞在中に研究を遂行する上で必要な経費と旅費の一部を援助するもの
- 3 特別講義開設援助  
大学における、社会科学系、システム技術系を問わず、教育的価値の高い情報通信に関する新たな講座の立ち上げを援助するもの

#### 連絡先

公益財団法人電気通信普及財団事業部

担当： 事業部長 中川 一郎

電話：03-3580-3414

URL：<http://www.taf.or.jp>

## 1. シンポジウム・セミナー開催援助

(金額単位:千円)

No.	申込者	会議、事業名	援助金額
1	2018年電磁波工学研究の進歩に関する国際会議実行委員会 実行委員長・大会委員長 小林 一哉 (中央大学 教授)	2018年電磁波工学研究の進歩に関する国際会議 (PIERS 2018 Toyama)	1,500
2	IEEE CAMA2017実行委員会 共同委員長 黒川 悟 (産業技術総合研究所 グループ長)	IEEE アンテナ計測および応用に関する国際会議2017 (IEEE CAMA 2017)	1,000
3	情報理論とその応用国際シンポジウム実行委員会 実行委員長 大橋 正良 (福岡大学 教授)	2018年情報理論とその応用国際シンポジウム (ISITA 2018)	1,000
4	IEEE 音声認識理解国際ワークショップ組織委員会 組織委員長 中谷 智広 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所 主幹研員)	IEEE 音声認識理解国際ワークショップ (ASRU-2017)	1,500
5	第34回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム実行委員会 実行委員長 田畑 修 (京都大学 教授)	第34回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム 平成29年10月31日～11月2日	1,000
6	ASP-DAC2019 実行委員会 実行委員長 澁谷 利行 (ものづくりイノベーション研究所 所長)	アジア南太平洋設計自動化会議 2019	1,000
7	第10回モバイルコンピューティング及びユビキタスネットワーク国際会議組織委員会 組織委員長 稲村 浩 (はこだて未来大学 教授)	第10回モバイルコンピューティング及びユビキタスネットワーク国際会議 (ICMU 2017)	1,000
8	可視光通信国際会議・展示2018実行委員会 実行委員長 中川 正雄 (慶應義塾大学 名誉教授)	第二回可視光通信国際会議・展示2018 (ICEVLC2018)	1,000
9	CeDEM Asia 2018実行委員会 実行委員長 海後 宗男 (筑波大学 准教授)	E-デモクラシー・オープンガバメント国際会議アジア大会 (CeDEM Asia) 2018	800
10	Data Science Week 2017 協賛プログラム運営委員会 委員長 和泉 潔 (東京大学 教授)	第4回IEEEデータサイエンス&先端的データ分析国際会議 (DSAA2017)	1,500
11	電子情報通信学会第32回信号処理シンポジウム実行委員会 実行委員長 西山 清 (岩手大学 教授)	電子情報通信学会第32回信号処理シンポジウム	200
12	ICSV25 実行委員会 実行委員長 生田 顕 (広島大学 特任教授)	第25回国際音響振動会議 (ICSV25)	1,500
13	DLT 2018実行委員会 実行委員長 関 新之助 (電気通信大学 助教)	形式言語理論の進展に関する第22回国際会議 (DLT 2018)	1,080
合計		13件	14,080

## 2. 長期海外研究援助

(金額単位:US\$)

No.	申込者	研究テーマ、受入れ機関等	援助金額 US\$
1	東京理科大学 准教授 黒沢 健	コンジョイント分析における汎用的なモデル選択基準及び高次元データのモデル推定 (オーストラリア: オーストラリア国立大学 (ANU))	29,200
2	早稲田大学 基幹理工学部 情報通信学科 助手 孫 博	メタデータと評判情報に基づくモバイルアプリのセキュリティ対策に関する研究 (フィンランド: アールト大学)	4,493
3	日本学術振興会/京都大学 特別研究員 吉川 尚孝	チップ増強テラヘルツ電場による単原子層半導体のバレー分極の制御 (カナダ: アルバータ大学)	9,040
合計		3名	42,733

### 3. 平成29年度(30年度開講分)特別講義開設援助

(金額単位:千円)

区分	大学名	特別講義名	援助金額
新規	神奈川工科大学	IoTと知能情報処理技術特論	1,011
新規	千葉大学	情報セキュリティ分析(入門・実践)	1,397
継続	筑波大学	ICTとビジネスシステムリスク特別講義およびビジネスシステムリスク特別演習	390
継続	信州大学	情報通信技術の発展と法制度	1,026
継続	情報セキュリティ大学院大学	サイバー・インテリジェンス	964
継続	摂南大学	IoT時代の経営情報学 - 情報社会における「まち」、「学校」、「企業」、「安全」を実現する新しい経営への挑戦	354
継続	大阪大学	高度情報通信社会における知的財産戦略論	1,000
合計		7件	6,142